



## 農林水産統計調査協力者に大臣感謝状を授与しました

農林水産省は、毎年10月18日の「統計の日」に当たり、農林水産統計調査に永年ご協力いただいた皆さまに大臣感謝状を授与し、感謝の意を伝えています。

令和7年度は、東海3県（岐阜・愛知・三重）で19名の方に大臣感謝状を授与しました。

今回、対象となった永年協力者は、農業経営統計調査および漁業経営統計調査の調査客体として永年ご協力いただいた方です。また、特別協力者は、統計調査員等として農林水産統計業務の推進に多大な功績のあった方です。

収集した調査結果は、農林水産行政の基礎資料として幅広く活用しています。

### 永年協力者 15名

岐阜県 3名  
愛知県 7名  
三重県 5名

### 特別協力者 4名

岐阜県 3名  
三重県 1名



永年協力者  
野原 栄司氏 (岐阜県)



永年協力者  
村田 和人氏 (愛知県)



永年協力者  
小林 正美氏 (三重県)



特別協力者 鳥羽磯部漁業協同組合 (三重県)  
代表理事組合長 木下 和行氏 (左)

詳細はこちら



<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kanshajo/index.html>

お問合せ先 統計部 調整課

TEL 052-763-4729

### みどり戦略関連

## オーガニックビレッジの取り組みが広がっています

「オーガニックビレッジ」とは、地域ぐるみでの有機農業の取組推進に向けて、生産から消費まで一貫し、農業者だけでなく事業者や地域内外の住民を巻き込んだ取り組みを進める有機農業の推進拠点となる地域のことをいいます。

農林水産省は、オーガニックビレッジの創出に取り組む市町村を支援し、オーガニックビレッジを先進的なモデル地区として2025年までに100市町村、2030年までに200市町村を目標に順次創出し、有機農業の横展開を図ることとしています（令和7年10月現在で150市町村が宣言）。

東海3県（岐阜・愛知・三重）では、令和6年度までに11市町（※）でオーガニックビレッジ宣言が行われており、有機農業推進の取り組みが広がりをみせています。



学校給食での提供拡大  
(岐阜県飛騨市)



有機農業により生産された米の  
ブランド化 (愛知県大府市)



地域の理解醸成に向けた取り組み  
(三重県名張市)

(※) 11市町

岐阜県 白川町・飛騨市  
愛知県 東郷町・南知多町  
岡崎市・大府市  
美浜町・武豊町  
三重県 尾鷲市・名張市  
伊賀市

11市町の  
取り組みは  
こちら



お問合せ先 生産部 環境・技術課

TEL 052-746-1313

<https://www.maff.go.jp/tokai/seisan/kankyō/midori/yuki.html>



# 「スマート農業推進フォーラム2025in東海」を開催します

東海農政局は、12月18日、農研機構中日本農業研究センターとの共催で、「スマート農業推進フォーラム2025in東海」を開催します。フォーラムでは、スマート農業技術の活用や技術開発の事例等を紹介するセミナーや、スマート農業技術を紹介する展示会を実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。

**開催日** 令和7年12月18日（木）

**場所**

**STATION Ai**  
1階イベントスペース  
(名古屋市昭和区鶴舞)

**セミナー**  
申込締切

**令和7年12月16日（火）**  
(展示会は申込不要)



12月18日(木)  
11:00~17:00  
STATION Ai  
1階イベントスペース

**セミナー 13:00~16:00**

## 【農業現場におけるスマート農業の取組事例の紹介】

- トクイテンのミニトマト自動収穫ロボットの開発とスマート農業の取り組み  
豊吉 隆一郎 氏（株式会社トクイテン 代表取締役）
- ほ場条件不利地域におけるスマート農機導入による水田営農の省力化等の推進  
加藤 昌亮 氏（岐阜県可茂農林事務所 農業普及課 地域支援第二係 技術課長補佐兼係長）
- 生産現場から進めるスマート農業技術の産地実装  
下村 堅二 氏（西三河農業協同組合 きゅうり部会 改革プロジェクトリーダー）  
西三河農業協同組合 営農部 営農企画課 技術専門員
- デンソーのスマート農業への取り組み～大規模ハウスにおける技術開発  
安田 隆司 氏（株式会社デンソー フードバリューチェーン事業推進部 アグリ技術課 担当課長）

## 【開発供給事業の取組事例の紹介】

- かんきつ自動収穫ロボットによる収穫作業の省力化に係る研究開発  
池浦 良淳 氏（国立大学法人三重大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授）

## 【農研機構からの情報提供】

- スマート農業技術導入による経営改善策 –スマート農業実証プロジェクトの経営分析結果をもとに–  
田口 光弘 氏（農研機構 農業経営戦略部 フードチェーンユニット ユニット長）

## 【農林水産省からの情報提供】

- 研究開発の現場ニーズを共有する取組「技術的課題」の活用について  
農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室
- 東海地域におけるスマート農業法に基づく認定状況等について  
東海農政局 生産部 環境・技術課

**展示会 11:00~17:00**

IPCSAやスマート農業関係事業者、農業支援サービス事業者等によるブース展示

特別企画 みんなで体験しよう！

Presented by IPCSA

ドローンの操作体験

農機の操縦体験



セミナー  
申し込み  
はこちら



詳細はこちら



お問合せ先 生産部 環境・技術課 TEL 052-746-1313

# 「令和7年度農村RMO推進フォーラムin東海」を開催しました

11月3日、東海農政局と日本郵便株式会社との協定締結に基づき、「令和7年度農村RMO推進フォーラムin東海」を日本郵便の関連施設JPタワー名古屋内、KITTE名古屋で開催しました。

会場では、農村RMOによるマルシェやトークショー、日本郵便株式会社東海支社、東海農政局による地域振興施策の紹介等を行いました。

当日は、農村RMOの活動や関連施策に関心がある方をはじめ、農産物や郷土料理などに関心・興味のある方など約300人が来場し、農村RMOを広く一般に発信するイベントになりました。



会場の様子



地域振興活動を紹介したトークショー



各農村RMOが特産品を持参したマルシェ

## 農村RMOとは

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取り組みを行う組織

## 東海農政局と日本郵便株式会社との協定

東海農政局は、3月24日、日本郵便株式会社との間で地域振興の連携に関する協定書を取り交わしました。

この協定は、東海農政局と日本郵便株式会社東海支社が緊密に協力し、中山間地域等におけるコミュニティの維持や地域資源の利活用などの取り組みを積極的に支援することを目指しています。



フォーラム出展者全員で記念撮影「これからも農村地域を支えます！」

お問合せ先 農村振興部 農村計画課 TEL 052-223-4629



# 「令和7年度東海大豆現地検討会in愛知」を開催しました

東海農政局は、10月28日、愛知県安城市のJAあいち中央総合センター生活館および刈谷市大豆ほ場において、東海地域大豆の高品質安定生産に資することを目的とした現地検討会を開催しました。

生産、流通、メーカー、行政、普及、研究機関等の関係者約100名が参加し、最初に大豆ほ場で作業の効率化や湿害回避が可能な「高速畝立は種栽培」の実証状況を見学、続いてJAあいち中央の会場にて極多収品種「そらみのり」を使った豆腐の試食、4名の講師による講演と大豆の単収向上に向けた取り組みと題したパネルディスカッションを実施。雑草防除や実需が求める大豆生産などについて意見交換を行いました。

## 講師の皆さま



加藤氏

石川氏



浅見氏

森崎氏

## パネルディスカッション

コーディネーター

農研機構 作物研究部門 加藤 信氏

パネリスト

農事組合法人よさみ 杉浦 克敏氏

岡田農園 岡田 吉司氏

(株)おとうふ工房いしかわ 石川 伸氏

農研機構 植物防疫研究部門 浅見 秀則氏

愛知県 農業総合試験場 森崎 耕平氏

## 参加者の声

- 実需者が求めている大豆や豆腐の現状について知ることができた。
- 極多収品種についてとても関心がある。
- 難防除雑草防除技術について防除のポイントやアサガオ対策の話が参考になった。
- 新しい高速畝立は種機について勉強になった。

など



大豆ほ場（見学の様子）



パネルディスカッションの様子



試食のお豆腐

お問合せ先 生産部 生産振興課 TEL 052-223-4622

# BUZZ MAFF「でらTOKAI」配信中です

BUZZ MAFF（ばずまふ）「でら TOKAI」とは、東海農政局の有志で結成された農林水産省公式YouTubeチャンネルです。東海3県（岐阜・愛知・三重）の農林水産物の魅力や地域におけるさまざまな取り組みを発信しています。

地域の皆さまが、「自分たちの取り組みをBUZZ MAFFでPRしてほしい」「BUZZ MAFFとコラボしたい」と思われたなら、お気軽にご相談ください。

BUZZ MAFFとは、農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。



最新作  
食べて！作って！満喫！  
東海ジビエフェアin愛・地球博記念公園



東海の学食シリーズ  
東海の学食からVol.2 ～金城学院大学～



6次産業化の取り組み紹介  
金城リリーマルシェに行ってみた

## 公開中の作品（令和7年度取材）

- 道の駅紹介 驚きの連続！  
どデカイ珍料理が食べられます！in愛知県新城市
- 東海の学食からVol.1 ～東海学院大学～
- 鶴匠の技を体感！～鶴飼バックヤードツアー～

## 公開予定の作品（タイトルは仮称）

- ぴーきゅんが東海農政局にやってきた
- 中部大学祭に潜入 ～減塩食育活動～
- \*東海の学食シリーズは、今後も続きます。

「でら TOKAI」  
の動画はこちら



お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4610



# 東海地域の農林水産物・食品の輸出促進の取り組みについて

農林水産省では、国内の人口減少に伴い食料需要の縮小が見込まれる中、国内への食料供給に加え、市場が拡大する海外への輸出を図ることで、農業および食品産業の発展を通じ食料の供給能力の維持を図ることとしています。このため、東海農政局では東海地域の産地や事業者による輸出の取り組みを支援しているところです。

## 輸出促進セミナーの開催

東海3県（岐阜・愛知・三重）の農林水産物・食品の輸出に取り組む産地・事業者を対象に、商談会の事前準備に関するセミナー（座学及びワークショップ等）を開催しています。



輸出戦略・計画立案の作成方法について研修（8月）



模擬商談会。商談会の心構え・準備について研修（10月）

GFPは、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクトです。参加を希望される方は、メンバー登録（無料）をお願いします。



GFPウェブサイト

## 地方銀行や商工団体等との連携

地方銀行や商工団体と輸出促進に関する連携協定を締結し、商談会を共催する等、地域の関係機関・大学と連携して輸出に取り組む産地・事業者を支援しています。

・百五銀行・四日市商工会議所と商談会を共催  
（写真右）北京の日系小売業者バイヤーを招へいた商談会（10月）。

・百五銀行・三重県内の食品分析機関とセミナーを共催。



・あいち銀行・愛知大学と、留学生が、輸出を目指す企業の商品を試食し企業と意見交換するイベントを共催。  
（写真左・11月）

## 産地・事業者への伴走支援

輸出に精通した「輸出産地サポーター」を配置し、輸出の計画づくりから実行まで、各事業者・産地の課題に応じた伴走支援を行っています。

## 地理的表示、知的財産の保護・活用

地理的表示保護制度は、その地域ならではの要因・環境の中で長年育まれてきた特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度です。管内では「特産松阪牛」など7産品が登録（令和7年10月現在）されています。



GIマーク（登録標章）

## 輸出に必要な証明書の発行

局内に輸出証明書発行窓口を設置し、事業者・産地からの申請に基づき、輸出先国・地域からの求めに応じた原発事故関連証明書や衛生証明書、自由販売証明書などを発行しています。

お問合せ先 経営・事業支援部 輸出促進課 TEL 052-223-4619

## マラソン大会の参加者募集用パンフレットに東海農政局の農業用施設が紹介されました

11月9日に岐阜県揖斐川町で開催された「いびがわマラソン2025」には、ハーフマラソンと3kmのウォーキング合わせて6,000人がエントリーしました。多くの方が手にするパンフレットに岡島頭首工（※）が紹介され、一般の方に農業用施設を知ってもらう良い機会になりました。

また、当日は東海農政局の西濃用水第三期農業水利事業所がメイン会場にブースを設け、国営土地改良事業をPRしました。

（※）岡島頭首工は、揖斐川中流部にある農業用水の取水施設で、同頭首工の管理橋でもある前島橋がハーフマラソンのコースになっています。

## 頭首工ちゃんが待ってる！

ゴール直前にある、頭首工をご存じですか？  
いびがわマラソンを第1回から、ずっと見守ってきた頭首工ちゃん、今大会では、頭首工ちゃんがデビュー！なんて言っているか、想いを受けとってね。  
その答えは、メイン会場のステージに掲げます。



ランナーの皆さん  
私のメッセージを  
受け取ってね！

岡島頭首工は「西濃用水」のスタート地点です！！

ここで取り入れられた揖斐川の水は、遠くは養老町北部に至る田畑を潤し、お米などの栽培に活かされています。



お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4610

【編集後記】師走を迎え、大掃除、年越しの準備など何かと慌ただしい時季となり、今年も残りわずかとなりました。来年も東海農政局の出来事や取り組み、東海地域の旬な農業の話題など、農業政策を広く理解していただくために情報を発信してまいります。

<編集> 東海農政局 企画調整室 TEL 052-223-4610

<ウェブサイト> <https://www.maff.go.jp/tokai/>

東海農政局



「食・農びっくあっぷ」ウェブサイト



メールマガジンの登録はこちら



東海農政局 公式 X